

1

子育ての悩みとしつけ

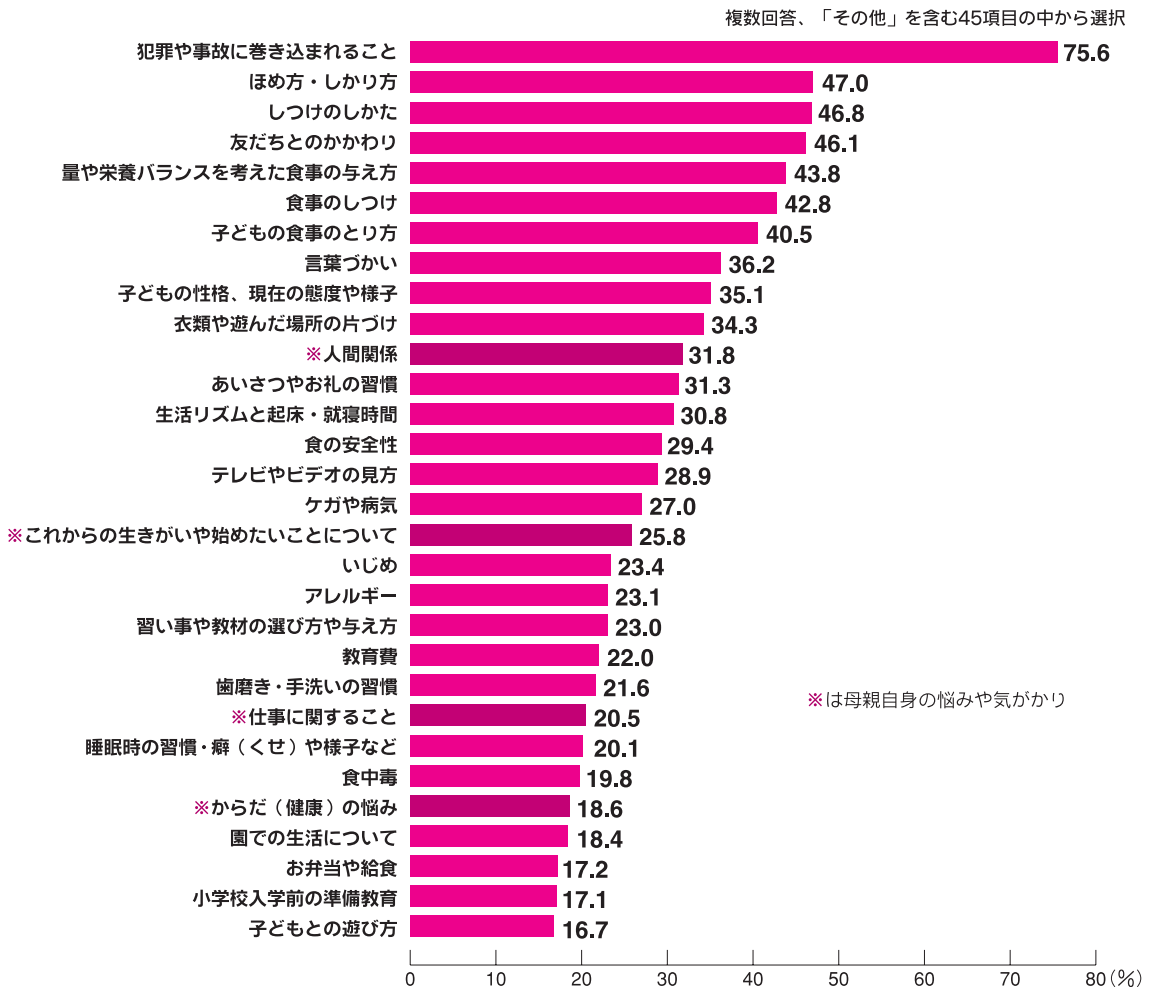
1

「犯罪や事故に巻き込まれること」が気がかりの第1位

4人に3人の保護者が「犯罪や事故に巻き込まれること」を気がかりにあげており、幼児が被害者となる事件の報道が多くなっていることを反映している。

Q お子様やあなたご自身のことについて、次のような「悩みや気がかり」がありますか。

図1-1 悩みや気がかり（上位30位）



子育ての悩みや気がかりについて聞いたところ、「犯罪や事故に巻き込まれること」が75.6%と圧倒的に高い。子どもが被害者となる事件の報道が多い現在、子どもの安全性は幼児の保護者にとってもっとも気がかりなことになっている。

しつけ面では「ほめ方・しかり方」「しつけのしかた」、友だち関係では「友だちとのかかわり」、食事・健康面では「量や栄養バランスを考えた食事の与え方」「食事のしつけ」「子どもの食事のとり方」の各項目が4割を超えている。

2

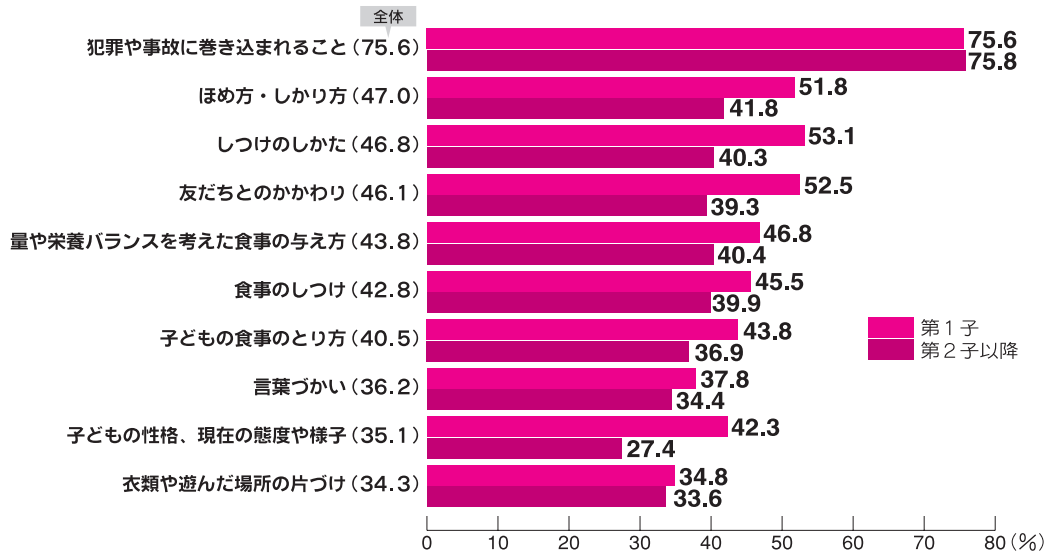
何かと悩みや気がかりが多い第1子

ほぼすべての項目で「第2子以降」よりも「第1子」の保護者の悩みや気がかりが多く、はじめての子育てはあらゆる面で不安が高い様子がわかる。

Q お子様やあなたご自身のことについて、次のような「悩みや気がかり」がありますか。

図1-2 悩みや気がかり（出生順位別・上位10位）

複数回答、「その他」を含む45項目の中から選択



悩みや気がかりに関するほとんどすべての項目で、「第2子以降」よりも「第1子」のほうが数値が高い。とくに、「ほめ方・しかり方」「しつけ

のしかた」「友だちとのかかわり」「子どもの性格、現在の態度や様子」は、10ポイント以上も差がある（図1-2）。

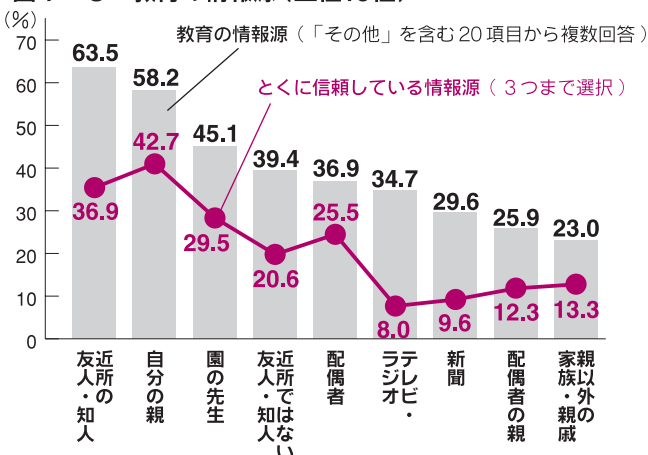
3

保護者の一番の情報源は「近所の友人・知人」

保護者の教育の情報源の第1位は「近所の友人・知人」である。次いで「自分の親」「園の先生」「近所ではない友人・知人」が続く。

Q 現在、あなたは「お子様のしつけや教育」についての情報をどこから（だれから）得ていますか。

図1-3 教育の情報源（上位10位）



しつけや教育に関する情報源をたずねたところ、第1位「近所の友人・知人」、第2位「自分の親」、第3位「園の先生」と、接する機会が多い身近な人が上位であった。そのなかから3つまで「とくに信頼している情報源」を選んでもらうと、「自分の親」が第1位となる（図1-3）。

4

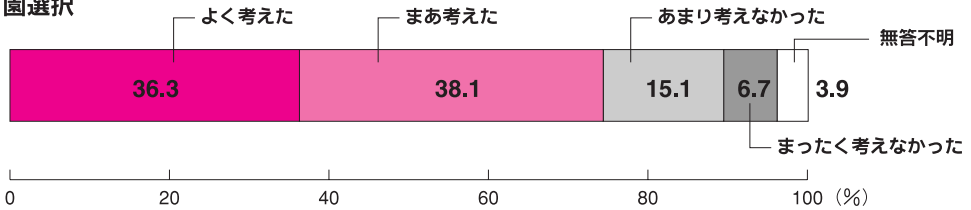
幼稚園・保育園選びに重要なのは「家から近い」こと

幼稚園と保育園とでは、「家から近い」「給食がある」「長時間あずかってくれる」「親の通勤に便利」など保護者の就労状況と関わる項目で大きな差がある。



お客様の通う幼稚園や保育園を選ぶときに、どの園にするかを考えましたか。

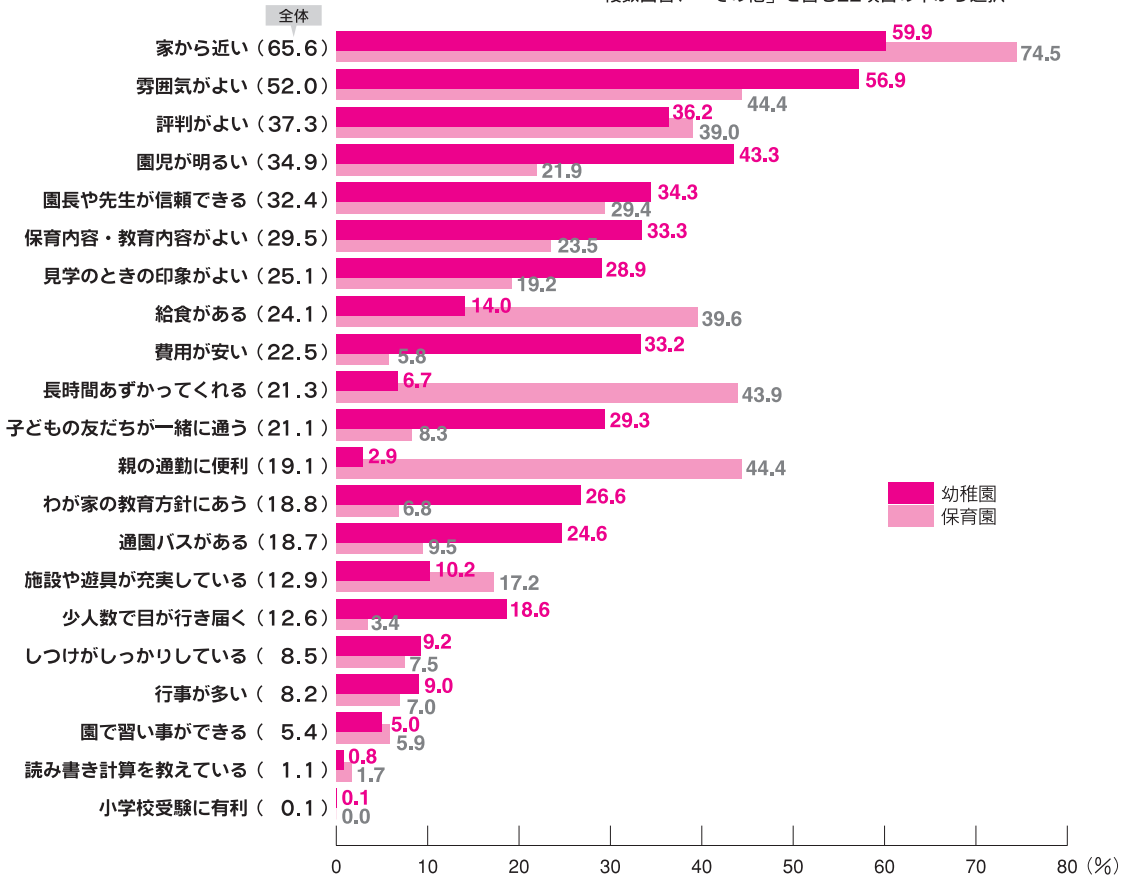
図1-4 園選択



園の選択を考えたときにどのようなことを重視しましたか。

図1-5 園選択で重視したこと（幼保別）

園の選択で「よく考えた」「まあ考えた」と回答した人のみ。複数回答、「その他」を含む22項目の中から選択



子どもの通う幼稚園や保育園を決めるときに74.4%の保護者は「考えた(よく+まあ)」と回答している(図1-4)。そこで、どのようなことを重視して選択したかをたずねたところ、「家から近い」という回答が65.6%でもっとも多

かった。ただし、何を重視するかは幼稚園と保育園では異なる。幼稚園に通わせている保護者は園の雰囲気や教育面を、保育園に通わせている保護者は就労するにあたっての利便性を重視する傾向がある(図1-5)。